

Ｈ２１年４月１８日

作成 川俣 葵

． Ｈ２０年度事業活動報告について

1. Ｈ２０年度の事業活動については、４事業（ＷＥＢ情報提供、ホームページ関連事業、健康体操教室、市の委託によるパソコン研修事業）について、皆様のご協力により実績を残すことが出来ました。
2. ホームページ関連事業については、平成１９年度から市内の商店会「はなこうネット」ホームページの運営・管理を業務委託され、２０年度も継続して実施しホームページ関連事業の収益に貢献する事賀できました。
3. 平成１８年に鎌ケ谷市の市民提案協働モデル事業「団塊の世代活動支援ＷＥＢサイト事業」を市から委託されて「かまがや 我ら団塊の世代！」ホームページの運営・管理を継続しています。委託事業の３年目となる２０年度は、市側の事情もあり委託事業予算が従来の１／２程度に削減されましたが継続をし、平成２１年度も委託事業は継続の見通しです。
4. 平成２０年１０月１８日（土）本年度鎌ケ谷市の東部学習センターで開催された「東葛まちづくり交流会」に参加。当ＮＰＯ法人の「町づくり」活動について、ポスター展示と説明を行いました。
5. 市民草の根運動として市民との交流を図る「健康体操教室」も今年度は１年間通しの開催で「ぼちぼち健康体操教室」を中央公民館で開催しました。１９年１０月～２０年９月の全１０回開催。年度の健康体操教室参加者は１６名でした。最終日となった９月の教室では終了式を行い参加者の方に「健康体操教室の修了証書」を交付いたしました。
6. Ｈ２０年度事業計画で目標とした会員数（３５名）に対しては、残念ながら３１名と計画を達成できませんでした。年度内の増減は正会員（上開地真理男氏、木村鈴子氏、鈴木英雄氏、川俣肇氏、岸本健二氏）が５名の増加、賛助会員の増加は（平野幸雄氏）の１名でした。平成２１年３月末現在の会員総数は３１名で、その内正会員（２３名）、賛助会員は（８名）です。
昨年度（平成２０年３月末）の会員数は正会員（２１名）、賛助会員（７名）の２８名となりました。
7. 当ＮＰＯ法人の年度末収支実績については、渡部副理事がこの後説明致します。平成２０年４月には鎌ケ谷市の協働モデル事業で１９年度分として予定していました委託費用（２０万円）が入金されましたので、当期の正味財産は増加いたしました。
8. Ｈ２０年度の事業活動に伴う事業収入は市内商店会のホームページ製作、サイト運営・管理及び鎌ケ谷市の「かまがや 我ら団塊の世代」ホームページのサイト運営・管理およびパソコン研修など委託事業収入がありました。なお、市の平成２０年度委託事業収入（約１０万円）は４月に支払い処理が行われるため、本年度の事業収入とはなりません。
9. 鎌ケ谷市の協働モデル事業を通じて、行政担当部門及び社会福祉協議会の下部組織であるボランティアセンターとも交流を深め、２０年度も相互の連携を強めることが出来ました。
具体例としては、ボランティアセンターの紹介で１名正会員の方が加入されました。
また、同じくボランティアセンターと市役所企画財政課の紹介で「セカンドライフ支援隊」のボランティア団体との連携活動も続いています。
10. ２０年２月～４月にかけて、市の業務委託事業「団塊の世代活動支援事業」として、デジカメ講座「街

のカメラマン」を開催いたしました。当講座は市内2ヶ所（北部小学校、まなびいプラザ）で開催され、当NPO法人はまなびいプラザのPC研修室で、参加申込者（50名）が多く2回に分けて実施いたしました。この講座には講師とアシスタント役のKAIS会員が6名ほど参加して、参加者の個別の質問に丁寧に指導対応しました。

11. 9月には柏市の「NPO法人パートナーとうかつ」との交流、10月にはNPO法人「市民テーブルこくぶんじ」の鎌ヶ谷市NPO活動視察に伴って当NPO法人の活動状況について説明をまなびいプラザで行いました。又地元では認定NPO法人の健寿ネットワークとの鎌ヶ谷総合病院で開催された「健康祭」にも、当NPO法人が参加している「鎌ヶ谷市NPO連絡協議会」の協賛事業として、パネル展示を行いました。
12. 11月には「鎌ヶ谷市及び柏市の歴史と文化財について」の公開講座を中央公民館で開催しました。この講座は鎌ヶ谷市市職員（元学芸員の方）と柏市内在住の柏市埋蔵文化財発掘スタッフの方に講師をお願いして開催したものです。当日の参加者は関係者を含めて21名の参加がありました。
13. 3月中旬には、これからNPO法人を立ち上げる予定の「いちごカウンセラーの会」の設立委員の保谷徳人さん（KAISの正会員でもあります。）に、NPO法人設立手続きとその後の所轄庁への提出書類作成業務内容について、資料を作成しご説明いたしました。
14. 鎌ヶ谷市委託事業「かまがや我ら団塊の世代」HPへの広告掲出がH21年度より始まる契約を締結する予定です。また、「かまがや地域情報の窓」にも広告バナー掲載の申込がありました。
15. ホームページ関連事業として、今年3月に初めて市内の方より「ホームページ制作の個人レッスン」の申込がKAISホームページを通じてありました。市内にもご自分で作成し運営したいと言う潜在ニーズがある事が分かりましたので、来年度の新規事業としても期待が持てるのではないかと思います。
16. KAIS女性会員（正会員5名、賛助会員3名の計8名）の中から、本年度は少しでもKAISの事業活動に参加して頂くように働きかけを致しまして、「ぼちぼち健康体操教室」への参加（2名）、KAISホームページへの投稿「2008年北京パラリンピック」（1名）など活動に参加をしていただきました。
17. 平成20年度に新たに会計処理用に購入しました、ノートパソコンと会計ソフト「会計王NPO専用」は、従来の会計ソフトから昨年10月に新しい会計処理システムへの移行作業もスムーズに出来て、平成20年度3月末の財務諸表も新会計システムで作成し業務の合理化を図る事が出来ました。

以上

(法第 2 8 条第 1 項)

平成 2 0 年度 [特定非営利活動に係わる事業] 会計財産目録

平成 2 1 年 3 月 3 1 日現在

特定非営利活動法人 かまがや地域情報の窓

科 目・摘 要	金	額	
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	175,468		
普通預金 千葉銀行鎌ヶ谷支店	658,904		
流動資産合計		834,372	
2 固定資産			
有形固定資産	0		
無形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			834,372
負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
預り金	0		
短期借入金 社員より	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
退職給与引当金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			834,372

(法第 2 8 条第 1 項)

平成 2 0 年度 [特定非営利活動に係わる事業] 会計貸借対照表

平成 2 1 年 3 月 3 1 日現在

特定非営利活動法人 かまがや地域情報の窓

科 目	金 額		
資産の部			
1 流動資産			
現金			
普通預金	175,468		
	658,904		
流動資産合計		834,372	
2 固定資産			
有形固定資産	0		
無形固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			834,372
負債の部			
1 流動負債			
短期借入金 社員より	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
退職給与引当金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産の部			
前期繰越正味財産		602,837	
当期正味財産増加 (減少) 額		231,535	
正味財産合計			834,372
負債及び正味財産合計			834,372

(法第 2 8 条第 1 項)

平成 2 0 年度 [特定非営利活動に係わる事業] 会計収支計算書

平成 2 0 年 4 月 1 日から 2 1 年 3 月 3 1 日まで

特定非営利活動法人 かまがや地域情報の窓

科 目	金	額
収入の部		
1 財産運用収入	0	0
2 会費・入会金収入		
入会金収入	0	
正会員年会費収入	48,000	
賛助会員年会費収入	7,000	55,000
3 事業収入		
市の団塊世代活動支援受託事業	273,000	
まちの活性化 H P 関連事業	242,000	
P C 教育・訓練事業	11,700	
講座参加料	0	
		526,700
4 社員からの短期借入金		
会員出資金	0	0
5 寄付金等収入		
寄付金収入	0	0
6 雑収入		
受取利息	840	
雑収入	0	840
当期収入合計 (A)		582,540
前期繰越収支差額		602,837
収入合計 (B)		1,185,377
支出の部		
1 事業費		
市の団塊世代活動支援受託事業	98,525	
まちの活性化 H P 関連事業費	0	

	P C 教育・訓練事業	0		
	市民草の根運動「健康体操・他」	0	98,525	
2	管理費			
	役員謝礼	32,000		
	会場費	8,000		
	通信運搬費	8,630		
	消耗品費	49,289		
	消耗備品費	97,246		
	保険料	5,000		
	研修費	0		
	租税公課	1,000		
	謝礼金	30,000		
	交際費	11,000		
	支払い利息	0		
	振込手数料	0		
	旅費交通費	10,000		
	雑費	315	252,480	
3	社員からの短期借入金返済 出資金返済	0	0	
4	予備費			
	当期支出合計（C）			351,005
	当期収支差額（A）-（C）			231,535
	次期繰越収支差額（B）-（C）			834,372